

# 平成18年度 第1回博物館協議会

日時：平成18年10月30日（月）13：00～16：00

会場：長浜城歴史博物館研修室

出席者：委員6人・館長・補佐・坂本・秀平・橋本・吉内

内容：資料別添のとおり、内容下記のとおり

---

## 1 開会 13：30

## 2 挨拶 長浜城歴史博物館長 江竜喜之

## 3 議題

### (1) 会長の選任について

- ・合併により現在会長職が不在であることを報告。
- ・長浜城歴史博物館管理規則第10条により、会長および副会長職を1人置き、それぞれ委員の互選により定めることを報告。

**選任方法については、事務局案を提示するよう委員より提案あり。**

- ・会長に嶋田委員、副会長に大橋委員を推進する旨提案。ただし、まだ大橋委員と連絡が取れていないため、事務局に一任いただけないか提案。

**委員承認**

**嶋田委員を会長に選任。副会長は未定。**

### (2) 平成18年度事業について

### (3) 平成18年度博物館事業について

「北近江一豊・千代博覧会」の概要について

北近江一豊・千代博覧会

特別企画「一豊と秀吉が駆けた時代」平成18年1月3日（火）～11月30日（木）

- ・展示室で特別企画展・企画展の観覧（太田補佐）
  - 博物館事業について（吉内）
  - 友の会活動について（吉内）

- ・講評等は以下のとおり

特別企画展に、小出しで展示をするのがおもしろい。博物館の入館者数が博覧会効果で増加しているというが、こういった展示の方法は何度来ても新しい展示があることになり、リピーター率が増えるのではないか（小和田）。今年度と比べて、来年度の入館者数の落ち込みを財政課から指摘されるのではないか。きちんと説明できる方が良い（木村）。

#### (4) 平成19年度展示事業計画について

##### ・資料について事務局説明

特別展「歴史のなかの鉄砲伝来」(案)について

企画展「戦国大名浅井氏と姉川合戦」(案)について

企画展「竹生島の名宝」(案)について

その他常設展示計画(案)について(以上橋本学芸員)

##### ・質疑、意見は下記のとおり

来年シリーズで彦根と長浜の展示をするが、大通寺の彦根との絡みを教えて欲しい(嶋田)。

井伊直弼の七女で、砂千代が大通寺の住職の内室となっている。ほかにも住職や内室を迎えることがあった。(事務局)

10人以上の学芸員がするような業務内容。若干セーブすることはできないか。以前は館長から事業減ということを知っていたが(木村)。

体力的にも精神的にも過労にならないことが大切だと思っている。

しかし、友の会のサービス低下となることはいけないという気持ちが職員の中にある。また、寄託されている資料や寄贈いただいた民具を収蔵庫に眠らせておくだけではいけない。少しでも展示することで地域とのつながりを強めることができる。文化財を守ることにもなる。反面、忙しくはなる。

以前は、特別展が年2回実施されていたが、今後、特展1回と、それより小規模な企画展数回の実施を考えている。(事務局)

来年の展示 ・ について、観光客的にも地域的にも満足していただけるのではないかと(小和田)。

今年度は特別に入館者も多い年でもあったので、来年度は充電期にあててもよいのではないかと(木村)。

ボランティアの方で英語を話せる方はいないかと(真壁)。

現在はいない。しかし、今後は英語だけでなく、他の国の方にも満足していただけるようガイドや、展示案内などが必要だと考えている。外国の方だけでなく、いろんな方、たとえば障害のある方にも満足いただけるようなサービスが必要。(事務局)

企画課や観光振興課と連携をして、中学生が修学旅行先で「一豊博覧会」のPRのためビラ配りを行った。若い年代にもできるボランティアはあると思う(真壁)。

特別展について、鉄砲は堺と国友と根来が有名だが、堺からは苦情が来ないかと(中島)。

こちらには来ていないが、国立歴史民俗博物館には国友が多く取り上げられているということで苦情は来ているらしい。(事務局)

友の会から「一門衆」が立ち上がったことは素晴らしいし、喜ばしいことであると思う。ただ、ボランティアの方が毎日来られて、例えば来館者が少ない日もあると思う。職員の方が対応等で疲れてしまわないか。他の博物館でもそういう声を聞くことがある。やって頂くことの範囲を決めることが大事。また、一門衆とその他の友の会会員との争いも起きないか心配である(木村)。

今年度は入館者の大幅な増加があるが、予算がこれによって来年度減らされる要因にならないか（木村）。

近年どの自治体も厳しいので、特別減らすということはないが、やはり削減されるとは思う。（事務局）

指定管理者制度の資料が28・29ページにもあるが、将来、美術館や博物館が標的にされるのではないか。今後、そのような事態になった場合にも十分説明できるように理論武装をお願いしたい（木村）。

当館でも、危機感を持って対応を行いたいと思う。

民間業者が期限付で経営を行うことによって、寄託資料を返還してほしいと言われかねない。展示をし、入館者を増やすことも必要だが、調査・研究を行うことが第一の仕事ではないか。全て「官から民へ」が良いという訳ではない。指定管理者制度の功罪は、2・3年後に結果が出ると思う。全国的にも閉館していく博物館が数多くある。その中で活動できている当館はありがたい。長浜は、観光効果もあるのではないか。多彩な事業を行うことで信頼が生まれ、寄託がしていただけるという点もある。（事務局）

#### （5）長浜城歴史博物館友の会購入の資料について

ミュージアムショップでの売上が博覧会によって今年度は多かった。博覧会の成果で、秀吉・一豊関連の貴重な資料が購入できた。（事務局）

#### （6）今後の博物館活動への意見・提言 その他

特になし

4 閉会 16:00

お問い合わせ先

長浜市公園町10番10号

長浜市長浜城歴史博物館

担当：太田・坂本

電話 0749(63)4611

FAX 0749(63)4613